

【小学校低学年の部・優秀賞】

平和なせかい

豊見城市立上田小学校

三年 宜保 美海

「せんそうは大きい。」

わたしは、じいちゃんやおばあちゃんの話
を聞いたときそう思いました。

「むかしこのおきなわでせんそうがあつて、
たくさんの方がなくなつたんだよ。」

「食べ物やのみ物はどうしていの。」

「せんそうの時は、食べ物がなくてねえ、地
面におちている虫を食べたんだよ。水は、空
からふつてくる雨をのんだんだよ。」

「どうやってにげていたの。」

「ガマっていうほらあなの中で、かくれてい
たんだよ。まつくらなのに、せ
んそうがおわるまでずーつとだよ。」

話を聞いていると知らないうちに、私の目か
らなみだが流れていました。

「ガマの中でね、赤ちゃんをうむお母さんも
いたんだよ。」

「その赤ちゃんが生まれて、泣いているとお
母さんは赤ちゃんの口をおさえ
ていたんだよ。」

「どうして。」

「赤ちゃんがなくなると、ときに見つかつてこ
ろされてしまうからさあ。だから、

なきつづける赤ちゃんをころしてしまつてお
母さんもいたんだよ。」

わたしは、この話がしんじられませんでしたし
た。せつかくお母さんのおなかの中から生ま
れてきたのにころすなんて。赤ちゃんもお母
さんもとてもかわいそうです。

「自分でしんだ人もいるの。」
とわたしが聞くと、

「ときにくろされるかもしれないと知った
人たちは、つぎつぎと自分からし

んでいったんだよ。」

おばあちゃんとおじいちゃんは、そう教え
てくれました。

わたしはたまに、おばあちゃんとおじいち
やん、お父さん、お母さんといっしょに、手
を合ませます。おばあちゃんはその時、空に
むかつて、なくなった人たちになにか話しか
けています。

それを見てわたしは、平和つて「今生きて
いること」なのかなあと思います。今生きて
いて、食べ物や水があること、かぞくや友だ
ちがいること、楽しくすごせること…。

いのちがあつて生きているから、いろいろ
なことができます。「今生きている」って、
すごいことなんだと気づきました。今の平和
がずっとつづくといいなと思います。

そのためにわたしにできることは、だれか
のやくに立つことです。近くにこまっている
人がいたら、「だいじょうぶ？」と声をかけ
たり、おもいにもつをもってあげたりして、
たすけてあげたいです。みんながだれかのた
めにできることをやっていたすけあつたら、平
和なせかいがつづくと思います。